



【阪神高速 未来^{あす}へのチャレンジプロジェクト】 第3回助成事業の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長:吉田光市）は、グループ会社6社（※）及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、2021年4月より【阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト】をスタートしました。

（※）阪神高速サービス株式会社、阪神高速技術株式会社、
阪神高速パトロール株式会社、阪神高速トール大阪株式会社、
阪神高速トール神戸株式会社、阪神高速技研株式会社

本プロジェクトは、市民団体が阪神高速道路沿線で行う公益的な活動に対し、公募により助成を実施するもので、市民団体との協働により社会課題の解決を図り、地域・社会の持続的発展及びSDGs達成へ貢献していくことを目的としています。

第3回助成として、2023年6月5日から7月31日まで、4つのテーマ（①安全・安心なまちづくり、②持続可能な環境づくり、③次世代を担う人づくり、④地域・社会の活性化や賑わい創出）に沿った事業プランを募集したところ、計25事業の応募をいただきました。これらを厳正に審査した結果、以下の8事業へ総額393万円の助成を実施することを決定しました。

団体名	事業名称	事業概要
特定非営利活動法人 NGO GOODEARTH	お米でつながる助け合いのコミュニティ、通称「米ニティ」	農家さんからお米を買い取り、子育て世帯を対象に注文を受け、そのお米を無償で配送または原価以下で販売する。
特定非営利活動法人 大阪海さくら	大阪湾でアマモを育て海の生物を知ろう、淀川ゴミ拾い大阪海さくらの『プラスチック問題プロジェクト』始動	「大阪の海をきれいにしょ」と海を通じて幸せになることを目的に、プラスチックゴミやマイクロプラスチックなどプラスチック問題を重点的に取り組む活動を実施する。
特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会	グローバルな社会課題への探究機会と課題解決のためのユースチームの組織化	「若い世代」が、阪神地域のグローバルな課題について探究するための国際協カスタディツアー等を企画し、仲間を募る。その後、共通の課題意識を持ち、課題解決を目指す持続可能なユースチームづくりを伴走支援する。

団体名	事業名称	事業概要
特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会	海外にルーツのあるこどもたちの日本語の習得支援及び居場所づくり	外国にルーツを持つこどもたちに対する日本語で学ぶ学習の支援と、学校に馴染めないこどもに対する居場所を確保することで、無理なく日本の学校の授業に馴染んでゆく過程を主に支援する。
NPO 法人 サードプレイス	障害児家庭の育児支援	脳疾患を持つ子どもの親（約 200 組以上）が会員で、情報交換を行っている。会員にピアサポーターとして協力いただき、障害児、特に脳疾患を持つお子さんのサポート体制を整備する。
一般社団法人 食べる健康プラットフォーム	食べる健康プラットフォーム『つながる便』	フードロスの削減を積極的に取り組む「食関連企業団体」より、SDGs 活動の一環として生鮮食品（野菜・日配品類）の提供を受け、その食材を「こども食堂」へ継続的に届ける「食」のプラットフォームを構築する。
つむぎ	子ども・子育て支援事業	発達障がいや知的障がいのある子どもを育てる方・子育ての悩みのある方・支援者等が集まり、交流の場の提供と交流の促進、講習等の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て等に関する相談・援助を実施する。
特定非営利活動法人 ふらいおん	無料学習塾事業の運営と継続	現在大阪市で運営している無料塾（合計 4 校舎）と 2023 年 8 月開校予定の無料塾（合計 2 校舎）の運営をしていくとともに、今後の事業の継続・発展を図る。

（団体名の 50 音順）

なお、活動成果については、2025 年 2 月頃、弊社 HP 等で公表する予定です。

今後も、本プロジェクトを通じて、地域・社会の持続的発展に貢献できる活動を応援し、明るい未来の共創に努めてまいります。

